

# 日本語教育能力検定試験の CBT 方式についてのよくある質問

2026.6.24 更新

## Q1. CBT 方式とはどんな方式ですか？

A1. CBT とは、「Computer Based Testing」の略で、試験会場に設置されたパソコンを使用して試験を実施する試験方式のことです。パソコンの画面上に試験問題と選択肢が表示され、マウスを使って解答を選択します。また、聴解問題については、備え付けのヘッドセットを使用します。

## Q2. これまでと同じ紙媒体の筆記試験で受験できますか？

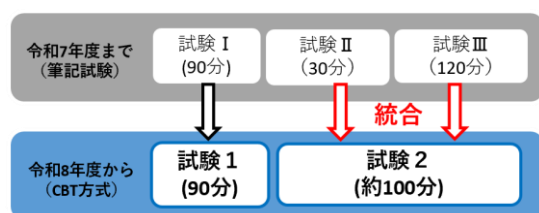
A2. 令和 8 年度より本試験は CBT 方式へ全面移行するため、紙媒体での筆記試験は実施しません。

## Q3. 試験時間、試験の構成等に変更はありますか？【R8.6.24 更新】

A3. 試験の解答時間および試験の構成は一部変更となります。下記の表をご確認ください。

なお、解答方式は全て多肢選択方式となります。従来の試験Ⅲに含まれていた記述式問題の出題はありません。

※試験の構成に一部変更はありますが、試験の目的、水準、出題範囲に変更はありません。



## Q4. 一定期間を空ければ年に複数回受験できるとありますが、どれくらいの期間を空ければ受験できますか？

A4. 令和 8 年 8 月以降に詳細をお知らせいたします。

## Q5. パソコンの操作が苦手です。受験時のパソコンの操作方法是教えてくださいませんか？

A5. 基本的な操作方法については、事前にご確認いただけるよう、HP に基本的な操作方法等についてご案内する予定です。

## Q6. 受験料は変わりますか？【R8.6.24 更新】

A6. 受験料は、現在の 17,000 円 (税込) から 13,000 円 (税込) となります。

## Q7. CBT の申込開始日、試験日等の詳細を教えてください。【R8.6.24 更新】

A7. 試験の申込は試験日の 60 日前から可能となり、初回は令和 8 年 10 月 5 日 (月) となります。

試験日は通年実施となり、初回は令和 8 年 12 月 1 日 (火) となります。

**Q8. 試験の結果はどのように活用されていますか。**

A8. 公立学校の教員や日本語教育支援員、地方公共団体の地域日本語教育コーディネーターや日本語学習支援者、国際交流基金が海外に派遣する日本語の講師等や JICA 海外協力隊の日本語教育隊員など、様々な場面で応募要件や採用時の加点要素等として活用されています。

これらの社会的な活用状況の例は[こちら](#)からご覧いただけます。

**Q9. 記述式問題がなくなるのは何故ですか？【R8.6.24 追加】**

A9. 本試験は、日本語教育の多様なニーズに応じた日本語教育を行うための基礎的な知識・能力を測る試験として実施してきました。その方針を維持しつつ、今回の CBT 方式への移行により、さらに受験機会の拡大と会場の利便性向上を図り、迅速に結果通知を行います。そのため、記述式問題は出題しないことといたしました。